

第334号

こうげん

**2022年
11月号**

発行：高原公民館(〒696-0406 邑南町高見3014-3) TEL 0855-84-0521 IP 050-5207-5500

月が、土星が、木星が...

秋の星空観察会を開催しました

10月29日(土)午後3時から京都府の科学普及支援団体てんもんぶのみなさんを講師に迎え、高原公民館で「秋のたかはら星空観察会」を開催しました。当日は高原地域の方だけでなく、町内外からもたくさんの方の参加があり、プラネタリウムや実際の天体観察だけの参加も含めて定員の30名を超える参加がありました。

星空観察会は、

- ・天体望遠鏡づくり
- ・プラネタリウム鑑賞

の3つのプログラムに分かれて開催され、天体望遠鏡づくりでは、てんもんぶのみなさんの手厚い指導のなか、「こうかな?」「ここに難しいね」と言い合いながら熱心に自分だけの天体望遠鏡を作られました。プラネタリウムは、体育館内に設置されたドームの中で行われました。ドーム内には流れ星が流れ、高原から見える星から、肉眼では見えないくらい遠くの星まで見たり、星座についての説明

を聞いたり、世代を問わずみんなて遠くの宇宙に思いをはせました。天体望遠鏡の使い方の説明を聞き、いざ!というタイミングで雨男の主事が雲を連れて来ちゃいました。・・少し待つと雲も晴れ、無事に天体観測が出来てわたくしホッと一安心。月のクレーターや土星の環、木星の柄まで見え、高原の空のキレイさを体感できました。

先日は月食もありましたが、参加されたみなさんは自身の天体望遠鏡で観てくれたかな?と思っています。



→く、雲がうつすらと...

藤棚の剪定を行いました

11月6日(日)午前8時から、環境部と文化部合同で公民館入口と老人創作館横の藤棚の剪定作業を行いました。

今年は藤の花が見事に咲いたため、伸びた新芽や種も多く、剪定作業ってなかなか難しいなあ...と思いました。

ですが、さすがみなさんは手慣れたもので、すいすいと剪定され、あっという間に藤棚がすっきりとなりました。来年も見事な藤を咲かせるのを楽しみにしています。



リーダー研修

おばけ屋敷を

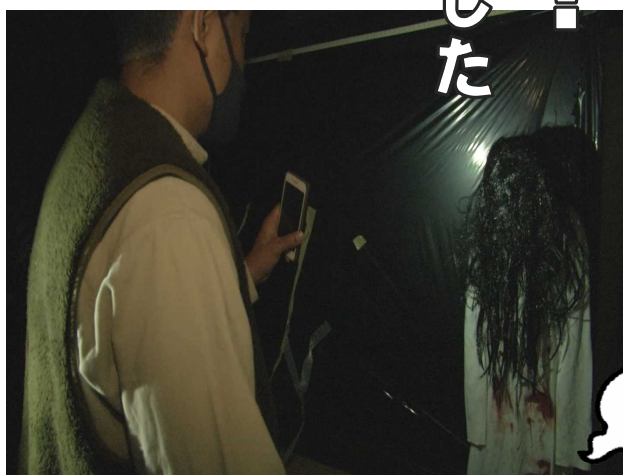
つくろう！

を開催しました

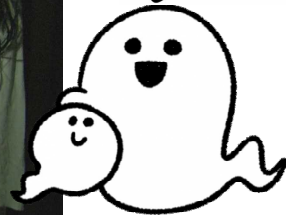
11月3日(木)午後1時から、町内12公民館共同事業(公連協事業)のリーダー研修「おばけ屋敷をつくろう！」が開催されました。

リーダー研修は小学校高学年が対象の事業で、町内の小学4年生から6年生までの児童がチームワークを考えて率先して行動したり積極的に意見をいうなどの自主性を育む目的で行われ、新たな世代のリーダーに育ってもらう事業で、今年は我々が高原公民館が栄えある会場に選ばれました。

リーダー研修は、事前学習として10月10日に同じグループになるメンバーと顔合わせをし、どんなおばけ屋敷を作るか企画を考えました。最初はよそよそしいメンバーでしたが、事前学習と当日を経て、異なる小学校の生徒だと分からなくなるほど仲良くおばけ屋敷づくりが出来ていたように感じました。



怖っ



薄暗くなってきた夕方6時半から保護者におばけ屋敷を体験してもらいました。館内各所から悲鳴や何かが倒れる物音が響き渡り、脅かすたびに子どもたちが「ここがよかった、ここはもう少し変更してみよう」と、楽しいだけでなく、試行錯誤する喜びに触れてもらえたのではないかと思います。主事もあるから夜の公民館が怖く感じるようになってしまいました(笑)

ふるさと講座 ぶらり秋の史跡めぐり開催

10月29日(土)午前9時30時から、公連協事業のふるさと講座「今、久喜銀山が見逃せない!!ぶらり秋の史跡めぐり」が開催されました。内容は久喜林間学舎を出発し、計4箇所のチェックポイントで久喜銀山振興協議会の方から久喜銀山の歴史等について説明いただきながらスタンプラリー形式で史跡や秋の風景を堪能しつつ散策しました。

当日は気持ちのいい快晴で、紅葉し始めた秋の景色や朝の澄んだ空気を全身で感じながら2班に分かれて歩きました。子どもの参加もあり、久喜銀山という邑南町の「おたから」に触れてもらう良い機会になったと感じました。



がんび採取完了♪

紙漉き体験学習

が始まりました

高原小学校の5年生と6年生の総合的な学習の時間で、2年に1度の紙漉き体験が始まりました。10月27日(木)に自生するがんびを採りに行き、がんびの生える地域(環境)や特色を学び、11月10日(木)に老人創作館でがんびを煮て、やわらかくなったものに小刀で切れ目を入れて1本ずつ丁寧に皮を剥ぎました。

今回は枝から皮を剥ぎ、外の薄皮を丁寧に剥がす工程を体験しま

した。たくさんあったがんびの枝も、小刀で怪我をすることもなくみんな上手にがんびの皮を剥がせました。

薄皮まではがしたがんびは、現在老人創作館内で乾燥させています。年明けに風の国で紙漉きの事前学習をした後、実際に紙漉きを体験します。自身で作った卒業証書が手元に届くのが楽しみです。



→がんびの説明を受ける生徒たち



↑剥いだがんびを乾燥させています

新たにご寄贈いただきました!

スクリーン(ついたて)

公民館活動の抹茶教室で役立ててほしいと、出店口集落の曾根田逸雄さんよりついたてをご寄贈いただきました。

このついたては、7月17日(日)に開催された令和4年度淡交会江津支部邑智会総会でも使用され、会場の雰囲気づくりにも一役買ってくれました。今後も公民館内の自主活動で使用させていただきます。

ありがとうございました。

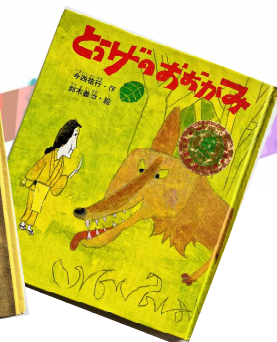


絵本

荻原集落の山中ハルエさんより「かさじぞう」「くまの子ウーフ」等、計48冊の絵本をご寄贈いただきました。

公民館内にあるキッズスペースや、今後の公民館事業で子どもたちに読んでもらう等で活用させていただきます。

ありがとうございました。



よつちゃん館長の〜今日の頃〜

新型コロナウイルスの感染が再び拡大傾向にあります。第8波到来と言う専門家もいますが、邑南町でも連日10人前後の感染者が発表されて、クラスターも発生しているようです。かつてのようにこのだれがとか探るような状況ではありませんが、気を付けていてもいつだれがどこで感染するか分かりません。インフルエンザの流行も予想されていますので、手指消毒、うがい、マスク着用など感染対策にお互いが心がけるようにしましょう。12月に入ると5回目の接種が始まりますので皆さん接種を受けましょうね。

ところで話は変わりますが、空き家となった家をどうするか。難しい選択ですね。売る、貸す、解体するなどの選択があると思いますが、皆さんはどう考えていますか？大切な不動産が税金や管理費を支払うだけの「負動産」にならないようにしたいものです。空き家の良しあしは普段の手入れ次第ではないでしょうか。台所やトイレなどの水を流し、家全体に風を通すことが大事です。怠ると家の中に臭気が多くなり、すぐにほこりがたまります。特に雨漏りは1年放っておくだけでも傷んで修繕が難しくなります。売却や賃貸を考えている方は少なくとも月1回

は実家の手入れをすることが大事です。水道施設やトイレなどの水回りなどが整備されているのは申し分ないのですが、リフォームは新しい住民が交換することができるので、必ずしもリフォームする必要はないと思います。墓地や農地、山林などの不動産をどうするかの問題もあります。解体して更地にすると固定資産税の減免が無くなるなどの影響があります。町の空き家バンクに登録するなど町の担当課と相談してはどうでしょうか。

これから寒い日が続きます。何かとせわしい時期となりますが、お体には気を付けて年末を迎えましょう。



高原地区の人口と世帯数

令和4年10月末現在(前年同月)

男性	388人	(386人)
女性	410人	(417人)
合計	798人	(803人)
世帯数	356世帯	(346世帯)
高齢化率	46.24%	

公民館の玄関に傘の忘れ物がいくつか...

とっても...と一つでもオシャレな傘も、持ち主が見つからないと処分することになります(^_^;アレ?あの傘...に思い当たる方は公民館にご来館くださいませ★

たかき

